

1. 件 名：訓練のあり方及び規制の関与の検討に係る試行について

2. 日 時：令和5年2月21日 16:40～18:15

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者（テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁

緊急事案対策室

川崎企画調整官、反町専門職

実用炉監視部門

菊川管理官補佐

専門検査部門

岡村検査官、長澤検査官

核セキュリティ部門

廣瀬補佐

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部防災安全グループ グループマネージャー 他3名

関西電力株式会社

原子力事業本部 安全・防災グループ マネジャー 他3名

四国電力株式会社

原子力本部 管理グループ グループリーダー 他5名

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力防災グループ 副長 他1名

5. 要 旨

関西電力から、訓練等のあり方に係る検討課題のうち、中期計画に関する検討状況について、資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、以下をコメントした。

- 活動組織は網羅性が分かるような記載が必要
- 訓練の実施者と評価者との認識のギャップを防ぐため、自社の習熟度の段階や、目指しているものについて共有が必要
- 自己評価について、評価要領を作成してはどうか

関西電力から、引き続き検討を進める旨の回答があった。

6. その他

配布資料：

## 資料1 “新” 中期計画の策定プロセス（関西電力株式会社）